

【戦略3】「園芸大国やまがた」の実現（その1）

本県の強みである果樹のブランド力の強化、水田フル活用による野菜等の大規模園芸団地化、次世代型施設園芸の導入により、園芸作物のさらなる拡大を目指していく。

(1) 果樹 ～ブランド力のさらなる強化と次世代につなぐ果樹産地の強化～

① 山形さくらんぼ世界一ブランド強化プロジェクト

【目標指標】

目標指標	戦略策定時	現状値	H30目標値	H32目標値
さくらんぼ収穫量	13,200t (H27)	14,500t (H29)	14,100t	14,300t
さくらんぼ産出額	332億円 (H26)	344億円 (H28)	342億円	345億円
さくらんぼ大玉品種の開発	-	1品種登録出願 (H29)	1品種登録出願 (H29)	1品種登録 (H31)

【30年度の取組み】

○オール山形によるブランド力の強化

- ・協議会を開催し、今年度の生産・販売の取組内容の検討(4/17)と、実績を評価・検証(9/4)
- ・結実確保対策キャラバン(4/18)や出荷規格順守のための啓発活動(6月)を実施
- ・省力・軽労化樹形の研修会を開催(9/12、園芸試験場、160名参加)



■ 出荷規格の市場巡回



■ 省力軽労化樹形(Y字)

○「山形C12号」のブランド化と導入の促進

- ・さくらんぼ大玉新品種「山形C12号」ブランド化プロジェクト会議を2回(6/1、9/4)開催し、「山形C12号」ブランド化プランを検討・策定

- ・名称を公募し(6/12～7/31)、全国から約1万5千件応募があり、現在、名称選考中
- ・生産者向けの「山形C12号」の試食・説明会を開催
- ・生産者登録制度による生産希望者の申込みを受付し、県内の約1,400の経営体から約17,000本の申請を受付(10月末)
- ・大玉安定生産のための着果管理技術を開発中(4月～、園芸試験場)



■ 大玉新品種「山形C12号」

<今後の取組み予定>

○オール山形によるブランド力の強化

- ・省力・軽労化樹形の栽培マニュアルの作成(3月)
- 「山形C12号」のブランド化と導入の促進
- ・生産者登録証の交付(11/15)と苗木の配布(12月～)
- ・名称の選定と商標出願(～3月)

【評価と課題】

○オール山形によるブランド力の強化

- ・本年はオール山形のブランド力強化の取組みに加え、①大玉であったこと、②6月の降雨が少なく露地ものの収穫が進んだこと、③果実の裂果や病害の発生が少なかったこと等から、収穫量は予想収穫量(5/22)をやや上回る、平年並みの14,300t程度(平年対比約104%、前年対比約99%)と見込まれる
- ・また販売単価も前年を上回る見込みであることから、産出額は前年及び過去最高であった平成28年を上回るものと見込まれる
- ・引き続き、オール山形でのブランド力強化の取組みを継続することが必要
- ・「山形C12号」を契機とした、省力・軽労化樹形の導入の促進が必要

○「山形C12号」のブランド化と導入の促進

- ・新品種への期待感が高く、想定を上回る申請があり、導入促進が図られた。
- ・「山形C12号」の生産者登録制度に基づく管理と栽培の普及を推進するとともに、知的財産保護のための名称の商標登録等を進め、消費者や市場、流通関係者の意見を踏まえブランド化を図ることが必要

【戦略3】「園芸大国やまがた」の実現（その2）

(4) 園芸産地の基盤強化 ～大規模園芸団地づくりや水田畑地化等による産地基盤の強化～

① 園芸作物大規模集積団地推進プロジェクト

【目標指標】

目標指標	戦略策定時	現状値	H30目標値	H32目標値
新たな大規模集積園芸団地数(累計)	—	6団地(H29)	10団地	20団地

【30年度の取組み】

○大規模集積団地づくりに向けた合意形成

- ・各総合支庁に園芸団地化推進員を配置(4/1～、計4人)
- ・団地化を検討する地区ごとに支援チームを設置して、市町村やJAと連携して、地区内の合意形成や団地化計画の策定を支援
- ・各地区における取組状況の進捗管理や情報共有を行うためプロジェクトチーム会議を開催(4/26、7/6、10/5)
- ・JAによるリース方式団地の現地視察(10/5、山形市中沼)
- ・取組状況の中間評価や推進に向けた課題抽出と解決策を検討するためプロジェクト会議を開催(9/3)

○大規模集積団地の施設・機械の整備

- ・県単独補助事業の園芸大国やまがた産地育成支援事業に「団地支援型」のメニュー（補助率6/10）を創設



プロジェクトチーム会議



リース方式団地の現地視察

<新たに団地化計画が承認された地区> ※平成30年10月末現在

	地区名	品目	主な整備内容(H30)
1	山形市本沢	シャインマスカット	ハウス、果樹棚ほか
2	村山市拜見	すいか	基盤整備、井戸掘削
3	東根市高崎ほか	啓翁桜	スピードスプレイヤ、草刈機
4	尾花沢市荻袋	すいか	トラクター、ブームスプレイヤほか
5	川西町吉島ほか	えだまめ	収穫機、播種機、防除機

<今後の取組み予定>

○大規模集積団地づくりに向けた合意形成

- ・プロジェクトチーム会議開催による進捗管理(11/28、2月中旬)
- ・団地化計画策定地区に対する支援チームによるフォローアップ
- ・新たな団地化実施地区の掘り起こし活動

○大規模集積団地の施設・機械の整備

- ・引き続き、各種補助事業の募集から交付決定までの手続きを遅延なく実施
- ・園芸大国やまがた産地育成支援事業の第4次募集の実施(11月中旬～)

【評価と課題】

○大規模集積団地づくりに向けた合意形成

- ・新たに5地区において団地化計画を承認し、29年度実施地区と合わせて11団地となり、30年度目標値10団地を上回る事ができた。
- ・32年度目標の20団地に向けては、さらに実施地区の掘り起こし活動を強化していくことが必要

○大規模集積団地の施設・機械の整備

- ・各種補助事業の募集から交付決定までの手続きが、遅延なく実施されている
- ・引き続き、事業が円滑に進むよう手続きを遅延なく実施することが必要